

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別市個別排水処理施設整備事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	3	生活排水の適正な処理
小分類	2	合併浄化槽の普及
主要な施策	1	個別排水処理施設の整備
事務事業番号	001	事務事業コード 21321001 事業開始年度 平成 1 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	公共下水道事業特別会計	予算書上の事務事業名	個別排水処理整備費
------	-------------	------------	-----------

部 名	都市整備部	グループ名	下水道 G
-----	-------	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 公共下水道処理区域(認可区域)及び処理予定区域外の市民
手段(事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 浄化槽の設置は、住民の要望により市が設置し維持管理も市が行う。 設置費 : 住民負担は設置費用の1割で残り9割は市が負担する。 維持管理費 : 下水道使用料と同様に浄化槽使用料金を住民から徴収する。
目指す姿(成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 公共下水道処理区域(認可区域)及び、公共下水道により処理を行う予定の地域を除く、市内全域の住民の快適な生活環境の保全を目的とする。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市個別排水処理施設条例、浄化槽法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	浄化槽設置数	基	目標値	20	20	10	10	10
			実績値	4				
	延べ浄化槽設置数	基	目標値	100	120	130	140	150
			実績値	43				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円	4,100	37,400	10,400	10,400	10,400	31,200
	その他	名称	千円	511	1,297	786	786	786	2,358
	一般財源	名称	千円	219	4,941	1,414	1,414	1,414	4,242
合 計				4,830	43,638	12,600	12,600	12,600	37,800
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	3,450	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計	3,450	0				

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市内全域の住民の快適な生活環境の保全を目的としており市が実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 合併処理浄化槽の普及により生活排水が適正に処理され、住民の快適な生活環境の保全に寄与している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 住民の意向に配慮しつつ広報誌、HPなどを活用し普及促進に努める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 設置に係る工事費は道単価等に基づいて積算しており必要最小限である。 また、事務に係る人件費についても必要最小限である。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	下水道処理区域以外の住民の快適な生活環境の保全を目的としており、今後も継続して行うことが望ましい。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）